

2017年度 京都大学経済研究所

第81回 CAPS 研究会

及び

2017年度京都大学経済研究所共同利用・共同研究拠点

「動学確率的一般均衡モデルとマイクロデータを活用した、
近年の成長戦略や財政再建策が日本のマクロ経済に与える影響の解明」研究集会

2017年12月2日（土）

於 京都大学経済研究所北館 N202 教室（吉田キャンパス）

開会の辞 10:15

第1報告 10:15～10:40

玉井寿樹（名古屋大学大学院経済学研究科）

「Tax Competition, Unemployment, and Intergovernmental Transfers」

（菊池悠矢氏との共著）

第2報告 10:40～11:05

高橋秀行（財務総合政策研究所）

「企業の現金保有行動について」

第3報告 11:05～11:35

服部孝洋（財務総合政策研究所）

「Decomposing Municipal Defaults and Liquidity Risk During the Yūbari Crisis in Japan」

第4報告 11:35～12:05

松本龍太郎（財務総合政策研究所）

「税・社会保険料における再分配効果の変化の要因分解：制度変更要因の抽出」

（大野太郎氏との共著）

第5報告 12:05～12:30

山崎丈史（財務総合政策研究所）

「Structural Estimation of repaid and defaulted bond spreads」

閉会の辞 12:30